

農業水利施設見学会

水土里ネットが管理している施設の役割と機能について、将来の地域農業の担い手である児童に啓発するため施設見学会を実施しました。

小学4年生による施設見学なので、農業水利施設の持つ役割等を理解することは難しいと思いますが、今まで見たことの無い施設等を見学することは、児童たちにとって貴重な体験になったと思います。

今後も農業水利施設等に関する認識の向上を図るため、施設見学等は必要と考えています。



活動体制	
実施主体	水土里ネット仙北平野（秋田県仙北平野土地改良区）
後援・連携	大仙市立横堀小学校
実施期間	平成23年8月29日
参加者	横堀小学校4年生29名、教職員2名、秋田県仙北地域振興局農村整備第一課職員1名
報道関連	特になし
活動実施年数	7年
連絡先	〒014-0034 大仙市大曲住吉町2番6号 秋田県仙北平野土地改良区 TEL.0187-62-0180
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット仙北平野（星宮文雄）					
○活動の目標及び達成率	目標	土地改良施設に関する認識の向上と地域住民と連携した管理体制の推進			
	達成率	20%			
○活動に対する評価	・対象地域の広さに対して活動が少ない				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			3. 継続性・発展性について		
①役職員の理解度	C	段階的な推進	①継続した活動の展開	C	活動に関わる体制整備
②運動の取組体制	C	活動に関わる体制整備	②運動の着実な発展・展開	C	〃
③組合員の理解度	C	段階的な推進	③運動計画の設定	C	〃
2. 活動の意義性について			④運動効果の発揮	C	〃
①基本理念の設定	—	特に設定していない	4. 行政・地域住民との連携について		
②地域住民への明確なPR	C	方法の検討が必要	①地域住民・教育機関との連携	C	活動に関わる体制整備
③持続可能な体制（経費を含む）	C	活動に関わる体制整備	②積極的な情報発信	C	〃
④地域の歴史等の伝承	—	行っていない	5. 今後の課題等について		
⑤本来業務に関した新たな取組	C	段階的な推進	・今後、対象地域を広げていきたい。		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他